

質 問 書

1 資源循環型施設建設についての質問

(1) 資源循環型施設建設について

ア 資源循環型施設は、公共用地である清浄園用地を建設候補地として計画されている。

現在清浄園で行っている「し尿等の処理業務」を下之条地区の南部終末処理場内に「し尿前処理下水道投入施設」として新たに建設し、処理を行うとしているが、地元からの地域振興の要望については、どのように検討しているか。また、市は、迷惑施設等に対する地元協力金や施設に関する協定の締結、各事業の実施時期をどのように考えているか。令和元年東日本台風等により被災した類似施設を参考にして、洪水対策について専門家等の指導を受けて、どのように検討して対応するか。

イ 土屋市長の就任以降、専門家を交えた組織として資源循環型施設検討委員会を発足し、9回にわたり環境に配慮した施設建設の検討について慎重に協議を行った。その内容を7月から8月にかけて資源循環型施設建設候補地周辺の住民の代表である委員自ら各自治会の住民に対して報告を行った。現在、行政主催の住民説明会を実施しているが、開催状況や今後の予定、各会場の反応はどうか。また、洪水対策についてはどのように考えるか。

ウ 市内の各クリーンセンターは耐久年数の 20 年から 25 年を既に超過しており、いつ機能停止になってもおかしくない状況の中で懸命の延命措置を行っているが、今後、施設稼働までに7年余かかるとした場合、合計でどのくらいの修繕費を見込んでいくのか。機能停止した場合に各家庭から出される燃やせるごみの処理について、どのように対応すると考えているか。また、資源循環型施設建設に伴う環境影響評価の実施時期を把握しているか。

エ 迷惑施設を設置した場合、周辺土地の流動性が低下するため施設の建設に反対する傾向がある。令和2年3月の一般質問では、地域振興策の一環として多種多様な土地利用を図るために用途地域の変更の可能性を明らかにしたが、今回の資源循環型施設建設に関わらず、西部地区のまちづくりの基本である地域活性化策の一環として行うべきと考えるがどうか。また、西部地区に公共施設の設置をはじめとする地域振興策等についての協議の場を設置する考えはどうか。

オ 7月に上田市廃棄物審議会から答申があった生ごみリサイクル推進プランについて、課題をどのように捉えて、生ごみの自己処理や堆肥化、バイオマス化を進めていくのか。また、上田地域広域連合管内の他の自治体の施設では生ごみの処理に余裕があるとのことだが、民間施設も含めて幅広く検討を行う考えはどうか。